

## AF-1 エアフィルタ(BN-2720-8A)

# 取扱説明書

### 1. 仕様

呼径	8A
配管サイズ	Rc1/4(PT1/4めねじ)
使用流体	空気
使用圧力	0~1.0MPa
耐圧力	1.5MPa

周囲温度	5~60℃
ろ過度	40μm
流量	0.39m <sup>3</sup> /min
質量	0.14kg

流量は一次圧力0.7MPa時に差圧が0.03MPaの時の流量を表しています。

### 2. 概要

エアライン中の固形不純物(ゴミ)や水分(ドレン)を取り除く目的で使用されるもので、コンプレッサとツールの間に設置して、ツールを保護します。ツールに近い所へ設置するほど効果的です。

### 3. 取り扱い

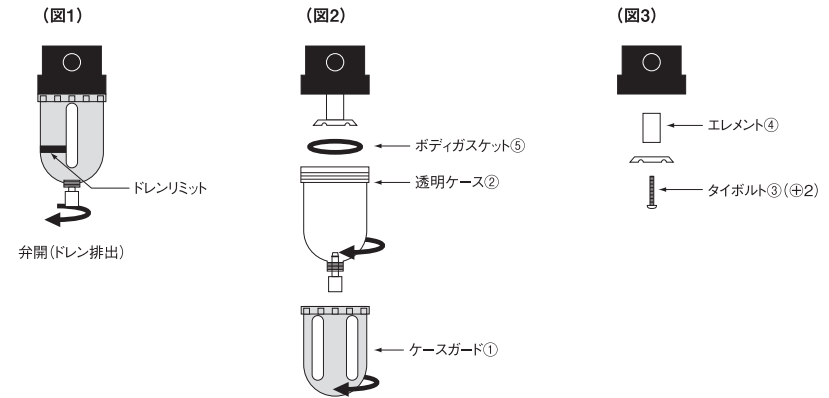
- 取り付け方向は、エアフィルタ本体上部の矢印方向に空気が流れるようにしてください。  
\*内部構造として、空気圧はフィルタエレメント(ろ過材)の外部から内部へと流れるようになっています。
- 取り付け姿勢は必ずドレンバルブが下になるようにしてください。
- 取り付け位置は圧縮空気の温度が低くなる所で、また、管路の低い所としてください。
- 取り付け場所は、直射日光・熱源の近く・有害な化学薬品などの雰囲気中のある所は避けてください。
- 保守点検に便利なように周囲に余裕空間を設けてください。
- 空気流速が極端に遅い時はエアフィルタの機能が低下します。使用条件を本機接続口に合わせてご使用ください。
- 配管の前には配管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片が入らないようにしてください。

### 4. メンテナンス

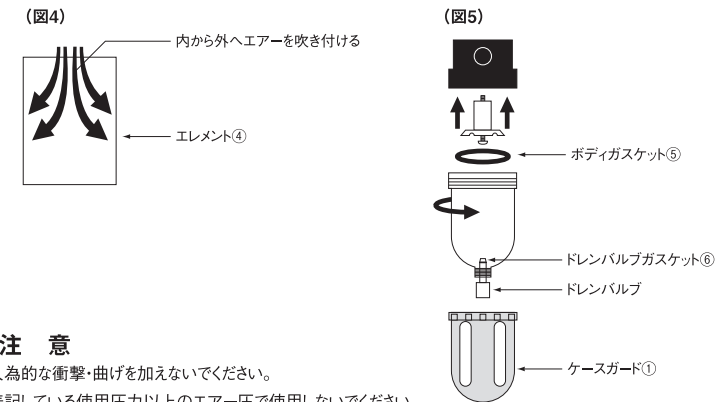
- ドレン排出は定期的に行い、ケース内の停滞物を排出してください。最下端のドレンバルブを左回し(下から見て)にするとドレン排出が出来ます。(図1)  
夜間気温が下がるとライン中にドレンが発生しますので、朝の始動時に排出されると効果的です。

**【注意】**ドレンがドレンリミットの位置以上に溜りますと、エアフィルタの機能が失われますので、早い目に排出してください。(図1)

- 取り付け後6~12ヶ月に一度は分解して、良好なコンディションを維持してください。
- 分解方法はまずライン圧力を停止し、ドレンを排出し、ケースガード①を下から見て左に回して外した後、透明ケース②を下から見て左へ回すと下方向に外れます。(図2)  
ケース分解後、タイボルト③を取り外すと全部品が取り外せます。(図3)



- 部品洗浄の際は、金属部品についてはシンナーやトリクレンなどの溶剤を用いられてもかまいませんが、金属製以外の部品については鉱物性の軽油で洗浄してください。エレメント④は洗浄再使用が可能です。清浄なエアをエレメント内部から外部へ吹き付けてフラッシングしてください。(図4)
- ポリカーボネイト樹脂製の透明ケース②は経年変化しますので、流量負荷の大小にかかわらず2~3年ごとに新品と交換してください。
- 組み立ては、分解時と逆の手順で丁寧に組み立ててください。ボディガasket⑤とドレンバルブガasket⑥が正しく所定の溝にあることを確認の上行ってください。(図5)



### 5. 注意

- 人為的な衝撃・曲げを加えないでください。
- 表記している使用圧力以上のエア圧で使用しないでください。
- 流体は空気のみをお願いします。
- 取付の際は、ネジ部の清掃を行ってください。異物があるとネジを痛める恐れがあります。

製造元: 日本精器  
発売元: 藤原産業株式会社 兵庫県三木市福井2115-1 TEL. 0794-86-8200 (代)